

ごみ搬入量の推移はどうなっているの？

(単位:トン)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
青梅市	33,215.59	32,536.73	31,722.16
福生市	14,247.76	13,582.93	13,147.39
羽村市	13,105.38	12,609.83	12,050.23
瑞穂町	9,130.96	8,944.34	8,498.69
構成市町計	69,699.69	67,673.83	65,418.47
小金井市	6,931.51	4,319.68	0.00
合計	76,631.20	71,993.51	65,418.47

平成 21 年度に構成市町から搬入された燃やせるごみの量は、65,418.47 トンで、前年度と比べ 2,255.36 トン、3.3%の減量となっています。構成市町における直近 3 年間の燃やせるごみの発生量については、年々減量傾向で推移しています。

また、平成 21 年度は、平成 19・20 年度に実施した広域支援（小金井市の燃やせるごみの受入れ）がなかったことから、ごみ搬入量の合計では前年度と比べ 6,575.04 トン、9.1%の減量となりました。



西多摩衛生組合

2010年10月発行
No.9

にしたまエコにゆうす

西多摩衛生組合は公害防止協定をしっかりと守っています！

■ 排ガス測定結果 下の表は平成 22 年 1 月から現在までに実施済みの排ガス測定の結果で、すべての項目において法規制値ならびに公害防止協定値を下回っています。

西多摩衛生組合では平成 19・20 年度に、排ガス中の煤塵（ばいじん）を取り除く集じん装置バグフィルターに、より高性能な『触媒フィルター』を導入しました。この結果、下の表の『ダイオキシン類』欄に示すとおり『触媒フィルター』を導入する前と比較し、ダイオキシン類の測定数値において低減効果が顕著にあらわれています。

項目	硫黄化合物	窒素化合物	ばいじん	塩化水素	水銀	ダイオキシン類	【参考掲載】		
単位	ppm	ppm	g/m ³ N	ppm	mg/m ³	ng-TEQ/m ³ N	*『触媒フィルター』を導入する前のダイオキシン類測定結果(平19年同時期測定値)		
法規制値	(約440)	250	0.08	430	—	1			
公害防止協定規制値	30	50	0.02	25	—	0.5			
公害防止協定目標値	10	40	0.01	10	0.05	0.1			
1号炉	H22. 1. 22	<1	18	< 0.001	6	—	0.00082	H19. 1. 19	0.031
	H22. 3. 24	<1	11	0.001	5	< 0.005	—	—	—
	H22. 6. 14	<1	30	0.001	9	—	0.0013	H19. 4. 25	0.027
2号炉	H22. 3. 5	<1	9	< 0.001	4	0.005	—	—	—
	H22. 5. 14	<1	29	< 0.001	3	—	0.0089	H19. 6. 22	0.040
3号炉	H22. 2. 2	<1	21	< 0.001	9	< 0.005	—	—	—
	H22. 4. 27	<1	13	< 0.001	4	—	0.0021	H19. 5. 22	0.025
	H22. 8. 5	<1	20	0.001	7	< 0.005	—	—	—

■ 大気環境中のダイオキシン類測定結果

採取場所	採取日	H20. 6. 25~	H21. 6. 17~	H22. 6. 23~
		H20. 6. 26	H21. 6. 18	H22. 6. 24
環境基準値		0.6		
羽村市立第3中学校		0.031	0.027	0.017
羽村市立松林小学校		0.026	0.024	0.020
羽村市あさひ公園		0.027	0.025	0.018
瑞穂町立第4小学校		0.027	0.030	0.028
瑞穂町むさしの会館		0.026	0.032	0.029

左の表は、毎年実施している西多摩衛生組合周辺の大気環境中のダイオキシン類測定結果（6月測定）を3年分並べたものです。測定は、24時間の試料採取によるもので、各地点ともに環境基準値を下回っていると同時に、直近3年間に於いて大きな変動がないことが見て取れます。

西多摩衛生組合は、『環境にやさしく安全で地域と協働する清掃工場』を目指し、今後とも環境負荷の低減に積極的に取り組んでいきます。

多摩川衛生組合の可燃ごみの受入れ終了について

広域支援

平成 22 年 7 月発行の『にしたまエコにゆうすNo.8 臨時号』でお知らせしました
多摩川衛生組合からの可燃ごみ受入れは、7月30日をもって終了しました

稲城市・狛江市・府中市・国立市の可燃ごみを共同処理している多摩川衛生組合（所在地：稲城市大丸1528番地）『クリーンセンター多摩川』で平成 22 年 6 月 15 日に発生した塩酸漏出事故に伴い、『多摩川地域ごみ処理広域支援体制実施協定』に基づき、7月1日から開始した可燃ごみの受入れについては、多摩川衛生組合の施設復旧が予定期日より早期に完了したため、7月30日をもって終了しました。

多摩川衛生組合では事故発生後、ごみ処理施設の復旧には 2 カ月程度を要すると見込み支援要請を行なったため、西多摩衛生組合では7月1日から8月31日までの2カ月間を広域支援の期間と定めていましたが、早期に広域支援が終了した結果、西多摩衛生組合での受入日数は7月1日から30日までの土日を除く延べ22日間となり、搬入車両の台数は延べ388台、支援合計量は2,236.44トンとなりました。

多摩川衛生組合

- 広域支援要請量 約 340 トン / 1 日
- 広域支援期間 平成 22 年 7 月 1 日 ~ 7 月 30 日
- 広域支援による処理量 6,240.77 トン (実績)

月日	広域支援の経過
6月15日	多摩川衛生組合にて汚水処理室内の塩酸配管中の弁部より塩酸が漏出、プラントを緊急停止。
6月16日	多摩川衛生組合が広域支援要請の手続きを開始。第2ブロック代表(府中市)へ支援を要請。
6月23日	多摩川地域ごみ処理広域支援ブロック協議会会長(府中市)が第1・3ブロックへの広域支援を要請。(150トン/日 支援期間 平成22年7月1日~8月31日まで) 第3ブロック代表(瑞穂町)が西多摩衛生組合へ広域支援を依頼。(150トン/日) 西多摩衛生組合は搬入措置対応の検討を開始。(150トン/日の受入れ可能)
6月24日	西多摩衛生組合から第3ブロック代表(瑞穂町)へ広域支援受入可能量(150トン/日)を回答。
6月28日	多摩川衛生組合が西多摩衛生組合へ広域支援を正式要請(100トン/日)。 西多摩衛生組合は広域支援要請を受け、羽村・瑞穂両協議会および組合議員へ報告。
6月30日	西多摩衛生組合正副管理者会議にて広域支援受託を機関決定。 西多摩衛生組合と多摩川衛生組合が可燃ごみ処理委託契約を締結。
7月1日	西多摩衛生組合で多摩川衛生組合の可燃ごみ搬入開始。
7月8日	羽村・瑞穂両協議会役員に対し、『公害防止協定に基づく広域支援の説明会』を開催。
7月12日	西多摩衛生組合協議会議員全員協議会が開催され、広域支援受託経過を報告。
7月30日	多摩川衛生組合からの可燃ごみ搬入が終了。
8月2日	多摩川衛生組合より広域支援要請終了の通知收受。正式に終了決定。

第1ブロック (代表 小平市・副代表 日野市)
八王子市、立川市、昭島市、小平市、武蔵村山市、**日野市**、東大和市、多摩市、町田市、小平・村山・大和衛生組合、**多摩ニュータウン環境組合**

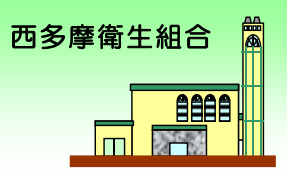
- 支援結果 (受入実績)
- 多摩ニュータウン環境組合 = 1,354.79トン ■ 日野市 = 406.58トン

第2ブロック (代表 府中市・副代表 清瀬市)
稲城市、清瀬市、国立市、小金井市、**国分寺市**、狛江市、調布市、西東京市、東久留米市、東村山市、府中市、三鷹市、武蔵野市、**柳泉園組合**、**多摩川衛生組合**、**ふじみ衛生組合**

- 支援結果 (受入実績)
- 柳泉園組合 = 1,635.02トン ■ 国分寺市 = 607.94トン

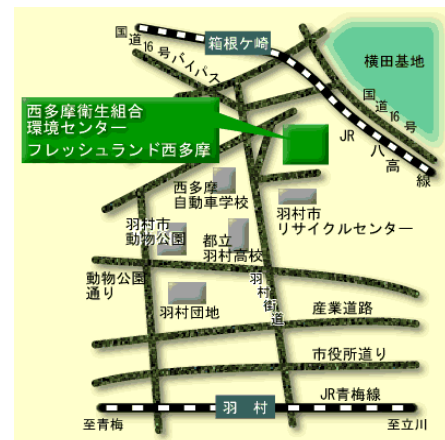
第3ブロック (代表 瑞穂町・副代表 福生市)
あきる野市、青梅市、奥多摩町、羽村市、日の出町、檜原村、福生市、瑞穂町、西秋川衛生組合、**西多摩衛生組合**

- 支援結果 (受入実績) ■ 西多摩衛生組合 = 2,236.44トン



編集・発行 西多摩衛生組合 2010年10月発行【No.9】

アクセス図



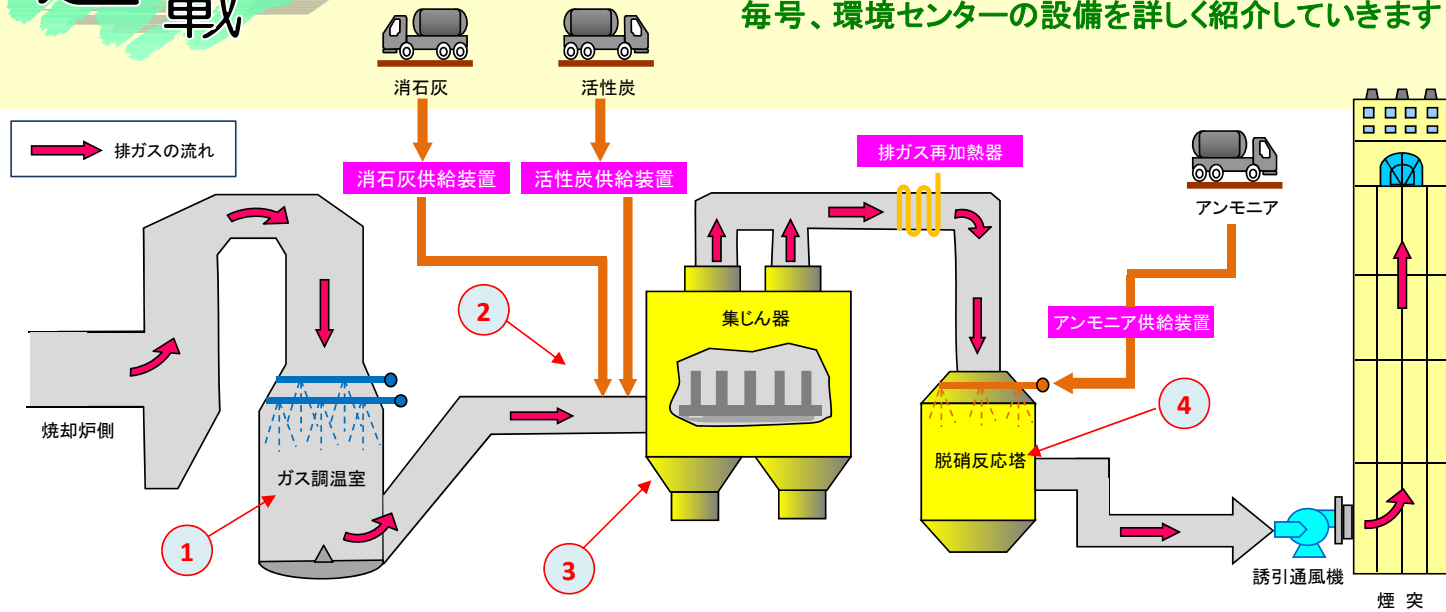
(構成団体 青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町)

- 西多摩衛生組合環境センター
住所：〒 205-0012 東京都羽村市羽4 2 3 5
TEL：042-554-2409 FAX：042-554-2426
- フレッシュランド西多摩
住所：〒 205-0012 東京都羽村市羽4 2 2 5
TEL：042-570-2626 FAX：042-570-2288

西多摩衛生組合 ホームページ <http://www.nishiei.or.jp>

* 『にしたまエコにゆうす』のバックナンバーは、西多摩衛生組合ホームページでご覧いただけます。

毎号、環境センターの設備を詳しく紹介していきます！



今回は、焼却炉でゴミを焼却した後に発生する排ガスをどのようにして処理しているのか解説します！

① ガス調温室

焼却炉から出てきた排ガスの『ガス調温室』入口付近での温度は230～250℃程度と、一般的にダイオキシン類が生成しやすい温度領域内であることから、『ガス調温室』では水噴霧により排ガス温度を195℃まで急速に冷却することでダイオキシン類の生成を抑制しています。

また、排ガス温度を下げるために使用する水は、工場棟内から排出された水を排水処理装置により再生させた再利用水を使用しています。

② 消石灰・活性炭供給装置

ガス調温室を通過した排ガス中には、まだ有害物質が多く含まれています。それらの有害物質を処理するために排ガス中に薬剤（消石灰・活性炭）を吹き込み、化学反応により塩化水素ガスを中和させるとともにガス状のダイオキシン類を吸着させ、公害規制値を下回るように処理しています。

③ 集じん器

集じん器の中には、長さ 5.5 メートルの筒状のろ布（バグフィルター）が 1 炉あたり 560 本格納され、排ガス中の微細な煤塵（ばいじん）等を限りなく 100%に近い精度で取り除くことができます。

環境センターのバグフィルターには、従来よりも高性能である触媒フィルターを導入しており、フィルター内で活性炭に吸着されずに通過するガス状のダイオキシン類も触媒によって酸素と化学反応し分解されるため、環境負荷低減に対して高い効果があります。



④ 脱硝反応塔

集じん器から出た排ガスは、蒸気の熱を利用した排ガス再加熱器で約 230℃に温められます。その後、排ガス中の窒素酸化物を取り除くため、気化したアンモニアを噴霧することにより脱硝反応塔内で触媒と反応させ、排ガス中の窒素酸化物を水と窒素ガスに分解して無害化します。

このように、排ガスはさまざまな公害防止設備で処理された後、煙突から排出されます。

リニューアルオープン！

よりわかりやすく使いやすいサイト構成をめざし、西多摩衛生組合ホームページのリニューアルを行いました。西多摩衛生組合の運営状況やフレッシュランド西多摩のご利用方法など、詳しくご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

『西多摩衛生組合』で検索！

東京都羽村市羽 4225 番地 TEL 042 - 570 - 2626

2010 autumn
びよん太の家族



フレッシュランド西多摩は、ドイツのバーデン・バーデンで採掘されるトロン鉱石をもちいた浴場施設と、各種屋内スポーツをお楽しみいただける多目的施設のほか、サークル活動などのつとにご利用いただける集会施設をそなえた複合レジャー施設で、隣接するごみ処理施設『環境センター』で発生する熱源（蒸気）を有効利用しています。

入浴やスポーツを通じて、皆さまのいきい場、ふれあいの場として、お子様からお年寄りまで幅広い方々にご利用していただくことができます。地域交流の拠点として、また、心身のリフレッシュに、フレッシュランド西多摩をご愛用くださいますよう、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

浴場施設のご案内

トロン温泉とは、今からおよそ2000年前にドイツのバーデン・バーデンにおいて発見された名湯で、フレッシュランド西多摩は、天然の鉱石『トロン原石』を現地から取りよせ、トロン温泉を再現した準天然トロン温泉です。

トロン物質の活性作用により、細胞のすみずみまで血行が促進され、からだの芯から温まる保温効果に加え、神経痛・肩こり・冷え性・痔・腰痛・うちみ・くじき・しもやけ・疲労回復など、からだの痛みに対してすばらしい効果を発揮すると言われています。



多目的施設のご案内

フレッシュランド西多摩の多目的施設の床材には、ひざなどに負担の少ないスポーツ床材（タラフレックス素材）を採用しており、通常の木床とくらべて衝撃吸収にすぐれ、安全性と競技性能を両立した施設となっています。サークルやクラブ活動の拠点として、バレーボールやバスケットボールなどの各種スポーツのほか、屋内レクリエーションにぜひご利用ください。

また、多目的施設の2階には卓球コーナーが併設されており、ご家族・ご友人とごゆっくりお楽しみいただけます。



集会施設のご案内

集会施設『ふれあい館』は、80畳の広さをほこるフローリング床のホールと40畳の畳貼りの和室を完備し、各種サークル・団体などでの集会・研修・レクリエーション等のつとにご利用いただけます。

建設にあたっては、設計段階から環境に配慮した施設とすることを基本コンセプトに、東京の木・多摩産材など自然にやさしい建築資材を採用しています。

